作成者:山村　孝子

科　目　名		学科／学年	年度／時期	授業形態
パソコン演習(Word)		情報ビジネス学科／1年	2024／前期	演習
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	30回	2単位（60時間）	必須	山村　孝子

授　業　の　概　要

・一般的に最もよく使われるWordの基礎から応用までの機能を学習する
・Word(Expertまで)のMOS試験の試験対策をする

授業終了時の到達目標

・MOS（Word Expert）合格
・Word機能を理解し活用できる

実務経験有無	実務経験内容
有	一般企業において、Word・Excelを使用した事務処理、CADを使った製図を経験。事務処理の実務経験により、MOSマスター取得のための指導を行う。

時間外に必要な学修

事前にテキストの内容を確認すること・模擬試験に関しては、正しい操作ができるよう繰り返し練習をすること

回	テ　ー　マ	内　　容
1	MOS資格の概要 Office Master2019	MOS資格の概要 Office Master2019の概要
2	Word第1回模擬試験　解説	第1回模擬試験問題について、問題の意図と解答方法を知る
3	Word第2回模擬試験　解説	第2回模擬試験問題について、問題の意図と解答方法を知る
4	Word第3回模擬試験　解説	第3回模擬試験問題について、問題の意図と解答方法を知る
5	Word第4回模擬試験　解説	第4回模擬試験問題について、問題の意図と解答方法を知る
6	Word第5回模擬試験　解説	第5回模擬試験問題について、問題の意図と解答方法を知る
7	試験対策① （第1回模擬試験）	模擬試験で問題に慣れ、正しい操作を身に付け正答率を高める
8	試験対策② （第2回模擬試験）	模擬試験で問題に慣れ、正しい操作を身に付け正答率を高める
9	試験対策③ （第3回模擬試験）	模擬試験で問題に慣れ、正しい操作を身に付け正答率を高める
10	試験対策④ （第4回模擬試験）	模擬試験で問題に慣れ、正しい操作を身に付け正答率を高める
11	試験対策⑤ （第5回模擬試験）	模擬試験で問題に慣れ、正しい操作を身に付け正答率を高める
12	試験対策⑥ （ランダム試験）	模擬試験で問題に慣れ、正しい操作を身に付け正答率を高める
13	小テスト	本番と同じように試験システムを使用して小テストを行う 50分で90%以上を目指す
14	試験対策⑦ （苦手な回の模擬試験）	正答率を高めると同時に、余裕をもって解答できるよう時間配分を考えて解答する
15	試験対策⑦ （苦手な回の模擬試験）	正答率を高めると同時に、余裕をもって解答できるよう時間配分を考えて解答する

回	テーマ	内容
16	Word Expert 第1回模擬試験　解説	第1回模擬試験問題について、問題の意図と解答方法を知る
17	Word Expert 第1回模擬試験　解説	第1回模擬試験問題について、問題の意図と解答方法を知る
18	Word Expert 第1回模擬試験　解説	第1回模擬試験問題について、問題の意図と解答方法を知る
19	Word Expert 第2回模擬試験　解説	第2回模擬試験問題について、問題の意図と解答方法を知る
20	Word Expert 第2回模擬試験　解説	第2回模擬試験問題について、問題の意図と解答方法を知る
21	Word Expert 第2回模擬試験　解説	第2回模擬試験問題について、問題の意図と解答方法を知る
22	Word Expert 第3回模擬試験　解説	第3回模擬試験問題について、問題の意図と解答方法を知る
23	Word Expert 第3回模擬試験　解説	第3回模擬試験問題について、問題の意図と解答方法を知る
24	Word Expert 第3回模擬試験　解説	第3回模擬試験問題について、問題の意図と解答方法を知る
25	Word Expert 第4回模擬試験　解説	第4回模擬試験問題について、問題の意図と解答方法を知る
26	Word Expert 第4回模擬試験　解説	第4回模擬試験問題について、問題の意図と解答方法を知る
27	Word Expert 第4回模擬試験　解説	第4回模擬試験問題について、問題の意図と解答方法を知る
28	Word Expert 第5回模擬試験　解説	第5回模擬試験問題について、問題の意図と解答方法を知る
29	Word Expert 第5回模擬試験　解説	第5回模擬試験問題について、問題の意図と解答方法を知る
30	Word Expert 第5回模擬試験　解説	第5回模擬試験問題について、問題の意図と解答方法を知る

教科書・教材	評価基準	評価率	その他
MOS対策テキスト＆問題集（Word Specialist・Word Expert）（FOM出版社）	小テスト 課題提出 実習・実技評価	30.0% 30.0% 40.0%	

作成者:山村　孝子

科　目　名		学科／学年	年度／時期	授業形態
パソコン演習(Excel)		情報ビジネス学科／1年	2024／前期	演習
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	30回	2単位（60時間）	必須	山村　孝子

授　業　の　概　要

・一般的に最もよく使われるExcelの基礎から応用までの機能を学習する
・Excel（Expertまで）のMOS試験の試験対策をする

授業終了時の到達目標

・MOS（Excel Expert）合格
・Excelの機能を理解し活用できる

実務経験有無	実務経験内容
有	一般企業において、Word・Excelを使用した事務処理、CADを使った製図を経験。事務処理の実務経験により、MOSマスター取得のための指導を行う。

時間外に必要な学修

事前にテキストの内容を確認すること・模擬試験に関しては、正しい操作ができるよう繰り返し練習をすること

回	テ　ー　マ	内　　容
1	Excel第1回模擬試験　解説	第1回模擬試験問題について、問題の意図と解答方法を知る
2	Excel第2回模擬試験　解説	第2回模擬試験問題について、問題の意図と解答方法を知る
3	Excel第3回模擬試験　解説	第3回模擬試験問題について、問題の意図と解答方法を知る
4	Excel第4回模擬試験　解説	第4回模擬試験問題について、問題の意図と解答方法を知る
5	Excel第5回模擬試験　解説	第5回模擬試験問題について、問題の意図と解答方法を知る
6	試験対策① （第1回模擬試験）	模擬試験で問題に慣れ、正しい操作を身に付け正答率を高める
7	試験対策② （第2回模擬試験）	模擬試験で問題に慣れ、正しい操作を身に付け正答率を高める
8	試験対策③ （第3回模擬試験）	模擬試験で問題に慣れ、正しい操作を身に付け正答率を高める
9	試験対策④ （第4回模擬試験）	模擬試験で問題に慣れ、正しい操作を身に付け正答率を高める
10	試験対策⑤ （第5回模擬試験）	模擬試験で問題に慣れ、正しい操作を身に付け正答率を高める
11	試験対策⑥ （ランダム試験）	模擬試験で問題に慣れ、正しい操作を身に付け正答率を高める
12	試験対策⑥ （ランダム試験）	模擬試験で問題に慣れ、正しい操作を身に付け正答率を高める
13	小テスト	本番と同じように試験システムを使用して小テストを行う 50分で90%以上を目指す
14	試験対策⑦ （苦手な回の模擬試験）	正答率を高めると同時に、余裕をもって解答できるよう時間配分を考えて解答する
15	試験対策⑦ （苦手な回の模擬試験）	正答率を高めると同時に、余裕をもって解答できるよう時間配分を考えて解答する

回	テ　ー　マ	内　　容
16	表示形式・関数について	表示形式について学習する 関数の考え方・使い方について
17	表示形式・関数について	表示形式について学習する 関数の考え方・使い方について
18	表示形式・関数について	表示形式について学習する 関数の考え方・使い方について
19	表示形式・関数について	表示形式について学習する 関数の考え方・使い方について
20	表示形式・関数について	表示形式について学習する 関数の考え方・使い方について
21	表示形式・関数について	表示形式について学習する 関数の考え方・使い方について
22	Excel Expert 第1回模擬試験　解説	第1回模擬試験問題について、問題の意図と解答方法を知る
23	Excel Expert 第1回模擬試験　解説	第1回模擬試験問題について、問題の意図と解答方法を知る
24	Excel Expert 第1回模擬試験　解説	第1回模擬試験問題について、問題の意図と解答方法を知る
25	Excel Expert 第2回模擬試験　解説	第2回模擬試験問題について、問題の意図と解答方法を知る
26	Excel Expert 第2回模擬試験　解説	第2回模擬試験問題について、問題の意図と解答方法を知る
27	Excel Expert 第2回模擬試験　解説	第2回模擬試験問題について、問題の意図と解答方法を知る
28	Excel Expert 第3回模擬試験　解説	第3回模擬試験問題について、問題の意図と解答方法を知る
29	Excel Expert 第3回模擬試験　解説	第3回模擬試験問題について、問題の意図と解答方法を知る
30	Excel Expert 第3回模擬試験　解説	第3回模擬試験問題について、問題の意図と解答方法を知る

教科書・教材	評価基準	評価率	その他
MOS対策テキスト&問題集（Excel Specialist・Excel Expert）（FOM出版）	小テスト 課題提出 実習・実技評価	30.0% 30.0% 40.0%	

作成者:山村　孝子

科　目　名		学科／学年	年度／時期	授業形態
パソコン演習(PowerPoint)		情報ビジネス学科／1年	2024／前期	演習
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	15回	1単位（30時間）	必須	山村　孝子

授　業　の　概　要

・一般的に最もよく使われるPowerPointの基礎から応用までの機能を学習する
・PowerPointのMOS試験の試験対策をする

授業終了時の到達目標

・MOS（PowerPoint）合格
・PowerPointの機能を理解し活用できる

実務経験有無	実務経験内容
有	一般企業において、Word・Excelを使用した事務処理、CADを使った製図を経験。事務処理の実務経験により、MOSマスター取得のための指導を行う。

時間外に必要な学修

事前にテキストの内容を確認すること・模擬試験に関しては、正しい操作ができるよう繰り返し練習をすること

回	テ　ー　マ	内　　容
1	PowerPoint 第1回模擬試験　解説	第1回模擬試験問題について、問題の意図と解答方法を知る
2	PowerPoint 第2回模擬試験　解説	第2回模擬試験問題について、問題の意図と解答方法を知る
3	PowerPoint 第3回模擬試験　解説	第3回模擬試験問題について、問題の意図と解答方法を知る
4	PowerPoint 第4回模擬試験　解説	第4回模擬試験問題について、問題の意図と解答方法を知る
5	PowerPoint 第5回模擬試験　解説	第5回模擬試験問題について、問題の意図と解答方法を知る
6	試験対策① （第1回模擬試験）	模擬試験で問題に慣れ、正しい操作を身に付け正答率を高める
7	試験対策② （第2回模擬試験）	模擬試験で問題に慣れ、正しい操作を身に付け正答率を高める
8	試験対策③ （第3回模擬試験）	模擬試験で問題に慣れ、正しい操作を身に付け正答率を高める
9	試験対策④ （第4回模擬試験）	模擬試験で問題に慣れ、正しい操作を身に付け正答率を高める
10	試験対策⑤ （第5回模擬試験）	模擬試験で問題に慣れ、正しい操作を身に付け正答率を高める
11	小テスト	本番と同じように試験システムを使用して小テストを行う 50分で90%以上を目指す
12	試験対策	正答率を高めると同時に、余裕をもって解答できるよう時間配分を考えて解答する
13	試験対策	正答率を高めると同時に、余裕をもって解答できるよう時間配分を考えて解答する
14	試験対策	正答率を高めると同時に、余裕をもって解答できるよう時間配分を考えて解答する
15	試験対策	正答率を高めると同時に、余裕をもって解答できるよう時間配分を考えて解答する

教科書・教材	評価基準	評価率	その他
MOS対策テキスト＆問題集（PowerPoint） （FOM出版）	小テスト 課題提出 実習・実技評価	30.0% 30.0% 40.0%	

作成者:合田　千佳

科　目　名		学科／学年	年度／時期	授業形態
Webサイト演習Ⅰ		情報ビジネス学科／1年	2024／前期	演習
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	60回	4単位（120時間）	必須	合田　千佳

授　業　の　概　要

Webページを制作するためのコーディング、デザインについて学習する

授業終了時の到達目標

・サーティファイ　Webクリエイター能力認定試験スタンダード(HTML5)　合格(希望者のみ受験)
・サーティファイ　Webクリエイター能力認定試験エキスパート(HTML5)　合格

実務経験有無	実務経験内容
有	専門学校講師として28年の実務経験 これまでの様々なIT資格やビジネス資格取得教育担当や職業に必要な実践的かつ専門的な能力を育成する職業教育担当を経験

時間外に必要な学修

『世界一わかりやすいHTML＆CSSコーディングとサイト制作の教科書』と『Webクリエイター能力認定試験公式テキスト』を一通り目を通しておくこと

回	テ　ー　マ	内　　容
1	・授業の目的、評価方法 Webクリエイター能力認定試験の概要 wwwやWebサイト制作の基本を理解しよう	※授業の目的と、評価方法の説明 Webクリエイター能力認定試験の概要 Web制作に必要な開発環境を整える 　授業使用データとエディタのダウンロード 1-4 コーディングに必要なアプリケーション 1-6 エディタの使い方を学ぶ
2	wwwやWebサイト制作の基本を理解しよう	1-1 Webサイトが表示される仕組み 1-2 Webサイト制作のキーワード 1-3 Webサイトに使用される言語 1-5 Webサイトに使用される画像
3	HTMLコーディングの基本を学ぼう	2-1 HTMLとは 2-2 マークアップとは 2-3 タグと要素と属性 2-7 HTMLファイルを作成して保存する
4	HTMLコーディングの基本を学ぼう	2-4 head要素とbody要素 2-5 head要素の中に入る要素 2-6 Webサイトを構成するファイルの管理 2-8 Webサイトの全体像を見てみる
5	画像表示とリンクをマークアップしよう	3-1 画像を表示する 3-2 リンクを設定する 3-3 パスを指定する
6	CSSコーディングの基本を学ぼう	7-1 CSSとは 7-2 CSSの基本ルールを身につける 7-3 HTMLにCSSを組み込む3つの方法 7-4 よく使うセレクタを知る
7	CSSコーディングの基本を学ぼう 見出しや段落をスタイリングしよう	8-1 文字サイズを調整する 8-2 行間を調整する 8-3 書体を調整する 8-4 文字の色を指定する 8-5 見出しを背景色で装飾する
8	練習問題	練習問題を解き、エディタの基本操作方法とここまでのHTMLタグの復習を行う

回	テ　ー　マ	内　　容
9	見出しや段落をスタイリングしよう CSSレイアウトの基本を学ぼう	8-6 見出しを線で装飾する 9-1 ボックスモデルを理解する 9-2 余白を調整する 9-3 ボックスサイズ（幅・高さ・余白）を計算する 9-4 Webサイトの基本レイアウト
10	ページ全体をレイアウトしてみよう	10-4 要素を回り込ませる
11	練習問題	練習問題を解き、エディタの基本操作方法とここまでの HTMLタグ、CSSプロパティの復習を行う
12	リストとナビゲーションをマークアップしよう リストとナビゲーションをスタイリングをしよう	4-1 順不同リストを作る 4-2 順序付きリストを作る 4-4 リストでナビゲーションを作る 11-1 リストの装飾について学ぶ 11-2 ナビゲーションを装飾する 11-3 グローバルナビゲーションを作る 7-5 特殊なセレクタ「疑似クラス」と「疑似要素」 15-3 webサイトのデータをチェックする
13	練習問題	練習問題を解き、エディタの基本操作方法とここまでの HTMLタグ、CSSプロパティの復習を行う
14	練習問題	練習問題を解き、エディタの基本操作方法とここまでの HTMLタグ、CSSプロパティの復習を行う
15	webクリエイター認定試験サンプル問題のHPを作成する HTMLの基礎と応用	2-5 <body>内に各ページ共通のHTMLを記述する 2-6 ナビゲーション領域を作成する 2-7 パンくずリストを作成する 2-8 コンテンツ領域・メイン領域・サブ領域を作成する
16	HTMLの基礎と応用 CSSの基礎と応用	2-9 フッター領域を作成する 3-1 CSSの基礎知識 3-2 セレクター 3-3 CSSの仕様・外部CSSファイルの読み込み 3-4 各ページ共通のCSSを記述する
17	CSSの基礎と応用	3-5 背景色、テキスト色を指定する 3-6 ボックスモデルを理解する 3-7 ナビゲーション領域のレイアウトを作成する
18	CSSの基礎と応用	3-7 ナビゲーション領域のレイアウトを作成する 3-8 ２コラムレイアウトにする 3-9 メイン領域にある見出しのCSSを調整する 3-10 疑似クラスを使用する
19	CSSの基礎と応用 高度なリストのデザイン	3-11 ページを複製する 3-12 ページごとに少しだけ異なるCSSを適用する 3-13 ナビゲーションのハイライトを作成する 4-1 トップページのタイトルを書き換える
20	高度なリストのデザイン	4-2 スライドショーを組み込む 4-3 メイン領域のHTMLを作成する 4-4 トップページのCSSを編集する 4-5　スマートフォン向けのCSSを読み込む
21	テキスト主体のページを作成	5-1 concept.htmlを作成する 5-2 画像にテキストを回り込ませる 5-3 不要なマージンをなくす
22	テーブルとそのスタイル	6-1 タイトル、見出しを変更する 6-2 テーブルの基本的なHTMLを作成する 6-3 キャプションを追加する
23	テーブルとそのスタイル	6-4 テーブル行をグループ化する 6-5 テーブルのレイアウトを調整する
24	ギャラリーレイアウト	7-1 タイトルなどを書き換えて、段落を1つ追加する 7-2 画像とキャプションのセットを追加する 7-3 ギャラリーレイアウトを完成させる

回	テ　ー　マ	内　　容
25	フォーム	8-1 「お問合せ」ページを作成する 8-2 フォーム領域を作成する 8-3 コントロールを追加する
26	フォーム	8-3 コントロールを追加する 8-4 設問ごとのマージンを調整する 8-5 コントロールスタイルを調整する
27	Webクリエイター試験 模擬問題1　スタンダード　答練①	Webクリエイター模擬問題1(スタンダード)を解きながら解説を聞くことにより、検定試験問題の解き方を理解する
28	Webクリエイター試験 模擬問題1　スタンダード　答練①	Webクリエイター模擬問題1(スタンダード)を解きながら解説を聞くことにより、検定試験問題の解き方を理解する
29	Webクリエイター試験 模擬問題1　スタンダード　答練①	Webクリエイター模擬問題1(スタンダード)を解きながら解説を聞くことにより、検定試験問題の解き方を理解する
30	Webクリエイター試験 模擬問題2　スタンダード　答練①	これまでに修得した知識を復習しながら、模擬問題を解くことにより、エディタの操作方法を理解する
31	Webクリエイター試験 模擬問題2　スタンダード　答練①	これまでに修得した知識を復習しながら、模擬問題を解くことにより、エディタの操作方法を理解する
32	Webクリエイター試験 模擬問題3　スタンダード　答練①	これまでに修得した知識を理解し、模擬問題を解くことにより、出題問題に慣れる
33	Webクリエイター試験 模擬問題1　スタンダード　答練①	これまでに修得した知識を理解し、模擬問題を解くことにより、出題問題に慣れる
34	Webクリエイター試験　答練① 模擬サンプル問題　スタンダード	試験と同じように時間をはかり、採点することにより、模擬試験（スタンダード模擬サンプル問題）で問題に慣れる
35	Webクリエイター試験　答練① 模擬問題1(実技問題) エキスパート	Webクリエイター模擬問題1(エキスパート　実技問題)を解きながら解説を聞き、検定試験問題の解き方を理解する
36	Webクリエイター試験　答練① 模擬問題1(実技問題) エキスパート	Webクリエイター模擬問題1(エキスパート　実技問題)を解きながら解説を聞き、検定試験問題の解き方を理解する
37	Webクリエイター試験　答練① 模擬問題1(実技問題) エキスパート	Webクリエイター模擬問題1(エキスパート　実技問題)を解きながら解説を聞き、検定試験問題の解き方を理解する
38	Webクリエイター試験　答練① 模擬問題2(実技問題) エキスパート	これまでに修得した知識を理解し、模擬問題を解くことにより、出題問題に慣れる
39	Webクリエイター試験　答練① 模擬問題2(実技問題) エキスパート	これまでに修得した知識を理解し、模擬問題を解くことにより、出題問題に慣れる
40	Webクリエイター試験　答練① 模擬問題2(実技問題) エキスパート	これまでに修得した知識を理解し、模擬問題を解くことにより、出題問題に慣れる
41	Webクリエイター試験　答練① 模擬問題3(実技問題) エキスパート	これまでに修得した知識を理解し、模擬問題を解くことにより、出題問題に慣れる
42	Webクリエイター試験　答練① 模擬問題3(実技問題) エキスパート	これまでに修得した知識を理解し、模擬問題を解くことにより、出題問題に慣れる
43	Webクリエイター試験　答練② 模擬問題1(実技問題) エキスパート	試験と同じように時間をはかり、採点することにより、模擬試験（エキスパート模擬問題1）で問題に慣れる
44	Webクリエイター試験　答練② 模擬問題1(実技問題) エキスパート 直し	前回の模擬試験（エキスパート模擬問題1）の修正点を直し完成させ、間違えを克服する
45	Webクリエイター試験 エキスパート サンプル問題(実技問題)　答練①	試験と同じように時間をはかり、採点することにより、模擬試験（エキスパートサンプル問題）で問題に慣れる
46	Webクリエイター試験エキスパート 模擬問題１，２(知識)	知識問題を解きながら、テキスト第9章の該当部分の解説を聞くことにより、問題の解き方を理解する
47	Webクリエイター試験　答練② 模擬問題2(実技問題) エキスパート	試験と同じように時間をはかり、採点することにより、模擬試験（エキスパート模擬問題2）で問題に慣れる
48	Webクリエイター試験エキスパート 模擬問題３，サンプル問題(知識)	知識問題を解きながら、テキスト第9章の該当部分の解説を聞くことにより、問題の解き方を理解する

回	テ　ー　マ	内　　容
49	Webクリエイター試験　答練② 模擬問題3(実技問題) エキスパート	試験と同じように時間をはかり採点することにより、模擬試験（エキスパート模擬問題3）で問題に慣れる
50	Webクリエイター試験 エキスパート サンプル問題(実技問題)　答練②	試験と同じように時間をはかり採点することにより、模擬試験（エキスパートサンプル問題）で問題に慣れる
51	Webクリエイター試験エキスパート 模擬問題１，２，３，サンプル(知識)②	Webクリエイター試験エキスパート4回分の知識問題をランダム出題サイトを利用し解答することで、知識問題に慣れる
52	Webクリエイター試験 エキスパート 模擬問題1(実技問題)　答練③	試験と同じように時間をはかり採点することにより、模擬試験（エキスパート模擬問題1）で問題に慣れる
53	Webクリエイター試験エキスパート 模擬問題１，２，３，サンプル(知識）③	Webクリエイター試験エキスパート4回分の知識問題をランダム出題サイトを利用し解答することで、知識問題に慣れる
54	Webクリエイター試験 エキスパート 教員自作の模擬問題１(実技問題) 答練①	試験と同じように時間をはかり、採点することにより、教員自作の模擬問題１(実技問題)で問題に慣れる
55	Webクリエイター試験　知識問題対策 教員自作知識問題２　答練	Webクリエイター試験エキスパートの知識問題対策用の教員自作知識問題１を解答することで、知識問題に慣れる
56	Webクリエイター試験　知識問題対策 教員自作知識問題２　答練	Webクリエイター試験エキスパートの知識問題対策用の教員自作知識問題２を解答することで、知識問題に慣れる
57	Webクリエイター試験 エキスパート 教員自作の模擬問題２(実技問題) 答練①	試験と同じように時間をはかり採点することにより、教員自作の模擬問題２(実技問題)で問題に慣れる
58	Webクリエイター試験　知識問題対策 教員自作知識問題３　答練	Webクリエイター試験エキスパートの知識問題対策用の教員自作知識問題３を解答することで、知識問題に慣れる
59	Webクリエイター試験 エキスパート 教員自作の模擬問題３(知識問題・実技問題)　答練①	試験と同じように時間をはかり採点することにより、教員自作の模擬問題３(実技問題)で問題に慣れる
60	Webクリエイター試験 エキスパート 教員自作の模擬問題３(知識問題・実技問題)　答練①	試験と同じように時間をはかり採点することにより、教員自作の模擬問題３(実技問題)で問題に慣れる

教科書・教材	評価基準	評価率	その他
・世界一わかりやすいHTML＆CSSコーディングとサイト制作の教科書 ・Webクリエイター能力認定試験公式テキスト（エキスパート） ・Webクリエイター能力認定試験問題集（スタンダード・エキスパート）	実習・実技評価 課題・小テスト	50.0% 50.0%	

作成者:梶河　沙耶子

科　目　名		学科／学年	年度／時期	授業形態
PC演習		情報ビジネス学科／1年	2024／前期	演習
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	15回	1単位（30時間）	必須	梶河　沙耶子

授　業　の　概　要

GoogleClassroomを使い、授業の課題提出などに活用できる
Windows11を効率よく使いこなせる
パソコンの構造やインターネットの仕組みを学び、日常生活の中でパソコンを活用できるよう基礎知識や技術を身に付ける
iButゴールド認定以上を目指す

授業終了時の到達目標

パソコンやタブレットで学生ポータルサイト、GoogleClassroomを使用しクラウドを理解する
ハード、ソフトの関連用語の意味を理解できる
職場や家庭で安心してパソコンを使うことができる
タッチタイピングの習得(10分間で400文字以上)

実務経験有無	実務経験内容

時間外に必要な学修

回	テ　ー　マ	内　　容
1	GoogleClassroom	ログイン（ID）パスワード クラウドについて
2～3	Windows11の基本機能	Windows11の便利な機能 タイピング練習（ホームポジション）
4	Windows11	Windows11を使いこなす タイピング練習（ホームポジション）
5	PC知識	ソフトインストール・アンインストール タイピング練習（ローマ字入力・アルファベット・記号）
6	PC組立①	ノートパソコンを分解 パーツチェック・組立
7	インターネット・メール	インターネット・メールの利用 タイピング練習（ローマ字入力・アルファベット・記号）
8	Web会議	Web会議システムの利用
9	PC組立②	デスクトップパソコンを分解 パーツチェック・組立
10～14	iBut検定対策 タイピング練習	iBut試験対策（対策テキスト）
15	期末試験	iBut検定受験 タイピング試験（10分間400文字以上）

教科書・教材	評価基準	評価率	その他
	確認テスト 期末試験(iBut検定結果) タイピング試験	20.0% 50.0% 30.0%	

作成者:中澤　智行

科　目　名		学科／学年	年度／時期	授業形態
メディアデザイン演習Ⅰ		情報ビジネス学科／1年	2024／前期	演習
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	15回	1単位（30時間）	必須	中澤　智行

授　業　の　概　要

PhotoshopとIllustratorの基本操作を習得し、実務に則した技能を養う

授業終了時の到達目標

Photoshopを使い、写真を補正したり、加工したりできる
Illustratorを使い、ポスター・チラシ等の媒体を作成できる

実務経験有無	実務経験内容

時間外に必要な学修

クイックマスター教本の読み込み、ポスターやチラシの観察・収集、夏休み課題

回	テ　ー　マ	内　　容
1	メディアデザインについて Photoshop基礎	メディアデザインの目的と概要を学ぶ ファイル操作、レイヤーなど基本操作を覚える
2	選択範囲	選択範囲の使い方を覚える
3	塗り潰し、移動と変形 ペイント系ツール	塗り潰し、移動方法と変形のさせ方を学ぶ 各種ブラシなど、ペイント系ツールへの理解を深める
4	カラーモードと色調補正 フィルタによる加工	RGB、CMYK、明るさ、コントラストについて理解する フィルタとは何かを実践で学ぶ
5	レイヤー操作	レイヤーを使っ効果について理解する
6	テキスト	テキストの入力と編集方法を学ぶ
7	パスとシェイプについて	連続する直線と曲線の描画方法について理解する
8	Photoshopまとめ問題	振り返り問題を行い、操作方法を身につける
9	Illustrator基礎	基本操作、塗りと線など、オブジェクトの描画について理解する
10	オブジェクトの編集	パスファインダーと変形ツール、シンボルについて理解する
11	グラデーションとアピアランス	オブジェクトの多様なカラー変更、変形方法を知る
12	文字関連の機能	テキストオブジェクトのリンクや段落パネルについて理解する
13	パスツール	パスの描画、変形方法を習得する
14	課題制作①	宣伝用チラシを制作して操作方法を身につける
15	課題制作②	宣伝用チラシを制作して操作方法を身につける

教科書・教材	評価基準	評価率	その他
Photoshopクイックマスター Illustratorクイックマスター	実習・実技評価 課題・レポート	30.0% 70.0%	

作成者:梶河　沙耶子

科　目　名		学科／学年	年度／時期	授業形態
ビジネス文書		情報ビジネス学科／1年	2024／前期	講義
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	30回	4単位（60時間）	必須	梶河　沙耶子

授　業　の　概　要

社内や取引先との間で交わされる報告書、礼状などのビジネス文書作成時に必要な知識や技能を養う
Wordを使用したビジネス文書作成の仕方を学ぶ

授業終了時の到達目標

財団法人実務技能検定協会 ビジネス文書検定3級　合格
社外文書、社内文書の作成方法習得

実務経験有無	実務経験内容

時間外に必要な学修

常用漢字を覚える

回	テ　ー　マ	内　　容
1	授業概要 ビジネス文書検定　3級対策 第Ⅰ章　表記技能	授業評価 ビジネス文書とは 1.総合　2.用字
2	第Ⅰ章　表記技能	2.用字 3.用語
3	第Ⅰ章　表記技能	4.書式
4	過去問題実施 解説	3級　表記技能のみ実施 第66、67回
5	第Ⅱ章　表現技能	1.正確な文書 2.分かりやすい文書
6	第Ⅱ章　表現技能	3.礼儀正しい文章
7	過去問題実施 解説	3級　表現技能のみ実施 第66、67回
8	第Ⅲ章　実務技能	1.社内文書
9	第Ⅲ章　実務技能	2.社外文書
10	第Ⅲ章　実務技能	3.文章の取り扱い
11	過去問題実施 解説	3級　実務技能のみ実施 第66、67回
12	過去問題実施 解説	3級　過去問題 第68回
13	過去問題実施 解説	3級　過去問題 第69回
14	ビジネス文書検定　2級対策	過去問実施 解説
15	ビジネス文書検定　2級対策	過去問実施 解説

回	テ　ー　マ	内　　容
16	ビジネス文書検定　2級対策	過去問実施 解説
17～21	ビジネス文書検定対策	3級受験・2級受験対策
22～28	ビジネス文書作成（課題）	Wordを使ったビジネス文書作成 タイピング練習
29	期末試験	期末試験
30	期末試験返却	期末試験返却 課題作成

教科書・教材	評価基準	評価率	その他
ビジネス文書検定受験ガイド 3級＜改定新版＞ ビジネス文書検定 実問題集 3級 第66回～第71回	課題提出 過去問テスト 期末試験	20.0% 30.0% 50.0%	

作成者:中澤　智行

科　目　名		学科／学年	年度／時期	授業形態
メディアデザイン演習Ⅱ		情報ビジネス学科／1年	2024／後期	演習
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	30回	2単位（60時間）	必須	中澤　智行

授　業　の　概　要

PhotoshopIllustratorの基本操作を習得し、実務に則した技能を養う

授業終了時の到達目標

Photoshopクリエイター能力認定試験に合格する
Illustratorクリエイター能力認定試験に合格する

実務経験有無	実務経験内容

時間外に必要な学修

過去問答練

回	テ　ー　マ	内　　容
1	Photoshop振り返り	前期で学んだ機能を使った振り返り問題を行い、復習をする
2	Photoshop練習問題答練① 模擬問題1-1	Photoshopクリエイター能力認定試験の練習問題の説明と実践
3	Photoshop練習問題答練② 模擬問題1-2	Photoshopクリエイター能力認定試験の練習問題の説明と実践
4	Photoshop練習問題答練③ 模擬問題2-1	Photoshopクリエイター能力認定試験の練習問題の説明と実践
5	Photoshop練習問題答練④ 模擬問題2-2	Photoshopクリエイター能力認定試験の練習問題の説明と実践
6	Photoshop練習問題答練⑤ 模擬問題3	Photoshopクリエイター能力認定試験の練習問題の説明と実践
7	Photoshop練習問題答練⑥ 模擬問題1	Photoshopクリエイター能力認定試験の練習問題の説明と実践
8	Photoshop練習問題答練⑦ 模擬問題2	Photoshopクリエイター能力認定試験の練習問題の説明と実践
9	Photoshop練習問題答練⑧ 模擬問題3	Photoshopクリエイター能力認定試験の練習問題の説明と実践
10	Photoshop練習問題答練⑨ 模擬問題1	Photoshopクリエイター能力認定試験の練習問題の説明と実践
11	Photoshop練習問題答練⑩ 模擬問題2	Photoshopクリエイター能力認定試験の練習問題の説明と実践
12	Photoshop答練① 模擬問題1	実際に時間を測りながら問題を解く
13	Photoshop答練② 模擬問題2	実際に時間を測りながら問題を解く
14	Photoshop答練③ 模擬問題3	実際に時間を測りながら問題を解く
15	Photoshop答練④ 模擬問題4	実際に時間を測りながら問題を解く

回	テーマ	内容
16	Photoshop答練⑤	模擬1～3の一部問題を復習し、使用方法を覚える
17	Illustrator振り返り	前期で学んだ機能を使った振り返り問題を行い、復習をする
18	Illustrator練習問題答練① 模擬問題1-1	Photoshopクリエイター能力認定試験の練習問題の説明と実践
19	Illustrator練習問題答練② 模擬問題1-2	Photoshopクリエイター能力認定試験の練習問題の説明と実践
20	Illustrator練習問題答練③ 模擬問題2-1	Photoshopクリエイター能力認定試験の練習問題の説明と実践
21	Illustrator練習問題答練④ 模擬問題2-2	Photoshopクリエイター能力認定試験の練習問題の説明と実践
22	Illustrator練習問題答練⑤ 模擬問題3	Photoshopクリエイター能力認定試験の練習問題の説明と実践
23	Illustrator練習問題答練⑥ 模擬問題1	Photoshopクリエイター能力認定試験の練習問題の説明と実践
24	Illustrator練習問題答練⑦ 模擬問題2	Photoshopクリエイター能力認定試験の練習問題の説明と実践
25	Illustrator練習問題答練⑧ 模擬問題3	Photoshopクリエイター能力認定試験の練習問題の説明と実践
26	Illustrator答練① 模擬問題1	実際に時間を測りながら問題を解く
27	Illustrator答練② 模擬問題2	実際に時間を測りながら問題を解く
28	Illustrator答練③ 模擬問題3	実際に時間を測りながら問題を解く
29	Illustrator答練④ 模擬問題4	実際に時間を測りながら問題を解く
30	Illustrator答練④ 模擬問題4	模擬1～3の一部問題を復習し、使用方法を覚える

教科書・教材	評価基準	評価率	その他
Photoshopクイックマスター Illustratorクイックマスター	実習・実技評価 課題・レポート	30.0% 70.0%	

作成者:梶河　沙耶子

科　目　名		学科／学年	年度／時期	授業形態
メディアデザイン実習		情報ビジネス学科／1年	2024／後期	演習
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	30回	2単位（60時間）	必須	梶河　沙耶子

授　業　の　概　要

・丸亀町商店街とのコラボイベントの準備・運営を通して実務技能を養う

授業終了時の到達目標

・企画、準備、運営を通して主体的に動き、イベントを成功させる

実務経験有無	実務経験内容

時間外に必要な学修

回	テ　ー　マ	内　　容
1	丸亀町商店街とは	丸亀町商店街について知る
2	過去のイベントの振り返り	過去、先輩が実施したイベントを知る
3～4	イベント準備①	グループに分かれて、企画、発表準備
5	イベント準備②	各グループの企画発表 投票を実施
6	イベント準備③	投票で決定したイベントを実施するためのグループ分け
7～11	イベント準備④	各グループに分かれ、担当毎に準備
12	イベント準備⑤	各グループの進捗状況を確認
13～15	イベント準備⑥	進捗状況に応じて、グループごとに準備を助け合う
16	リハーサル実施①	クラス内でリハーサルを行う
17	リハーサル振り返り①	クラス内で行ったリハーサルの反省
18～19	イベント準備⑦	足りない物の準備
20	リハーサル実施②	2年生を相手にリハーサル実施
21	リハーサル振り返り②	リハーサルの反省
22	イベント準備⑧	足りない物の準備
23	リハーサル実施③	2年生を相手に、本番を想定したリハーサルを実施

回	テ　ー　マ	内　　容		
24～25	リハーサル振り返り③	リハーサルの反省、足りない物の準備		
26	最終確認	持参物等の最終確認		
27～30	イベント実施	丸亀町商店街でイベント実施		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
		実習・実技評価	100.0%	

作成者:山村　孝子

科　目　名		学科／学年	年度／時期	授業形態
パソコン演習(Expert)		情報ビジネス学科／1年	2024／後期	演習
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	15回	1単位（30時間）	必須	山村　孝子

授　業　の　概　要

・一般的に最もよく使われるWord 、Excelの応用までの機能を学習する
・Word Expert、Excel ExpertのMOS試験の試験対策をする

授業終了時の到達目標

・MOS（Word Expert、Excel Expert）合格
・Word、Excelの機能を理解し活用できる

実務経験有無	実務経験内容
有	一般企業において、Word・Excelを使用した事務処理、CADを使った製図を経験。事務処理の実務経験により、MOSマスター取得のための指導を行う。

時間外に必要な学修

事前にテキストの内容を確認すること
模擬試験に関しては、正しい操作ができるよう繰り返し練習をすること

回	テ　ー　マ	内　　容
1	Word Expert試験対策① （第1、2回模擬試験）	模擬試験で問題に慣れ、正しい操作を身に付け正答率を高める
2	Word Expert試験対策② （第3、4回模擬試験）	模擬試験で問題に慣れ、正しい操作を身に付け正答率を高める
3	Word Expert試験対策③ （第5回模擬試験）	模擬試験で問題に慣れ、正しい操作を身に付け正答率を高める
4	Word Expert試験対策① （模擬試験）	模擬試験で問題に慣れ、正しい操作を身に付け正答率を高める
5	Word Expert試験対策② （模擬試験）	模擬試験で問題に慣れ、正しい操作を身に付け正答率を高める
6	Word Expert試験対策③ （模擬試験）	模擬試験で問題に慣れ、正しい操作を身に付け正答率を高める
7	1～3回の模擬問題の振り返り	問題の意図と解答方法を再度確認する
8	4、5回の模擬問題の振り返り	問題の意図と解答方法を再度確認する
9	Excel Expert試験対策① （第1、2回模擬試験）	模擬試験で問題に慣れ、正しい操作を身に付け正答率を高める
10	Excel Expert試験対策② （第3、4回模擬試験）	模擬試験で問題に慣れ、正しい操作を身に付け正答率を高める
11	Excel Expert試験対策③ （第5回模擬試験）	模擬試験で問題に慣れ、正しい操作を身に付け正答率を高める
12	Excel Expert試験対策① （模擬試験）	模擬試験で問題に慣れ、正しい操作を身に付け正答率を高める
13	Excel Expert試験対策② （模擬試験）	模擬試験で問題に慣れ、正しい操作を身に付け正答率を高める
14	Excel Expert試験対策③ （模擬試験）	模擬試験で問題に慣れ、正しい操作を身に付け正答率を高める
15	Excel Expert試験対策④ （模擬試験）	模擬試験で問題に慣れ、正しい操作を身に付け正答率を高める

教科書・教材	評価基準	評価率	その他
MOS対策テキスト＆問題集（Word/Excel Specialist・Excel Expert）（FOM出版）	小テスト 課題提出 実習・実技評価	30.0% 30.0% 40.0%	

作成者:梶河　沙耶子

科　目　名		学科／学年	年度／時期	授業形態
コンピュータリテラシ		情報ビジネス学科／1年	2024／後期	講義
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	45回	6単位（90時間）	必須	梶河　沙耶子

授　業　の　概　要

・コンピュータの仕組みを含めた、ITに関連するさまざまな技術と知識について、基礎を学習する
・企業活動における、ITとの関連について学習する

授業終了時の到達目標

ITパスポート(国家試験)取得

実務経験有無	実務経験内容

時間外に必要な学修

回	テ　ー　マ	内　　容
1	ITパスポート試験の概要 第1章ハードウェア【テクノロジ系】	ITパスポートの試験概要 1-01　情報に関する理論 1-02　コンピュータの構成とCPU
2	第1章ハードウェア【テクノロジ系】	1-03　主記憶と補助記憶 1-04　半導体メモリ 1-05　入出力装置
3	第1章ハードウェア【テクノロジ系】	1-06　入出力インタフェース 1-07　確率と統計 1-08　基数変換
4	第1章ハードウェア【テクノロジ系】	復習 確認テスト
5	第2章ソフトウェア【テクノロジ系】	2-01　ソフトウェア 2-02　ファイル管理 2-03　ファイルのバックアップ
6	第2章ソフトウェア【テクノロジ系】	2-04　表計算（相対参照と絶対参照） 2-05　表計算（関数） 2-06　表計算（関数の応用）
7	第2章ソフトウェア【テクノロジ系】	2-07　ユーザインタフェース 2-08　マルチメディア
8	第2章ソフトウェア【テクノロジ系】	復習 確認テスト
9	第3章システム構成【テクノロジ系】	3-01　コンピュータの形態 3-02　システム構成
10	第3章システム構成【テクノロジ系】	3-03　システムの信頼性 3-04　システムの評価
11	第3章システム構成【テクノロジ系】	復習 確認テスト
12	第4章ネットワーク【テクノロジ系】	4-01　ネットワークの構成 4-02　無線LAN
13	第4章ネットワーク【テクノロジ系】	4-03　通信プロトコル 4-04　インターネットの仕組み 4-05　通信サービス
14	第4章ネットワーク【テクノロジ系】	4-06　Webページ 4-07　電子メール

回	テーマ	内容
15	第4章ネットワーク【テクノロジ系】	復習 確認テスト
16	第5章セキュリティ【テクノロジ系】	5-01　情報資産と脅威 5-02　サイバー攻撃
17	第5章セキュリティ【テクノロジ系】	5-03　情報セキュリティマネジメント 5-04　リスクマネジメント
18	第5章セキュリティ【テクノロジ系】	5-05　利用者認証 5-06　ネットワークセキュリティ
19	第5章セキュリティ【テクノロジ系】	5-07　暗号化技術 5-08　デジタル署名と認証局
20	第5章セキュリティ【テクノロジ系】	復習 確認テスト
21	第6章データベース【テクノロジ系】	6-01　データベースとデータ操作 6-02　データベース設計
22	第6章データベース【テクノロジ系】	6-03　データの正規化 6-04　データの抽出と論理演算
23	第6章データベース【テクノロジ系】	6-05　データの整列と集計 6-06　トランザクション処理
24	第6章データベース【テクノロジ系】	復習 確認テスト
25	第7章アルゴリズムとプログラミング【テクノロジ系】	7-01　アルゴリズムとデータ構造 7-02　擬似言語 7-03　プログラム言語とマークアップ言語
26	第7章アルゴリズムとプログラミング【テクノロジ系】	復習 確認テスト
27	第8章マネジメント【マネジメント系】	8-01　企画・要件定義と調達 8-02　システム開発
28	第8章マネジメント【マネジメント系】	8-03　テスト手法と運用・保守 8-04　ソフトウェア開発手法
29	第8章マネジメント【マネジメント系】	8-05　プロジェクトマネジメント 8-06　工程管理
30	第8章マネジメント【マネジメント系】	8-07　ITサービスマネジメント 8-08　システム監査
31	第8章マネジメント【マネジメント系】	復習 確認テスト
32	第9章企業活動と法務【ストラテジ系】	9-01　財務諸表 9-02　損益分岐点と資産管理
33	第9章企業活動と法務【ストラテジ系】	9-03　知的財産権 9-04　セキュリティ関連法規
34	第9章企業活動と法務【ストラテジ系】	9-05　労働関連・取引関連法規 9-06　業務分析
35	第9章企業活動と法務【ストラテジ系】	9-07　データ利活用と問題解決 9-08　標準化
36	第9章企業活動と法務【ストラテジ系】	復習 確認テスト
37	第10章経営戦略とシステム戦略【ストラテジ系】	10-01　企業活動 10-02　企業統治と内部統制 10-03　経営戦略
38	第10章経営戦略とシステム戦略【ストラテジ系】	10-04　情報システム戦略と業務プロセス 10-05　マーケティング戦略 10-06　技術戦略

回	テ　ー　マ	内　　容
39	第10章経営戦略とシステム戦略【ストラテジ系】	10-07　業績評価と経営管理システム 10-08　ビジネスシステムとエンジニアリング 10-09　e-ビジネス
40	第10章経営戦略とシステム戦略【ストラテジ系】	10-10　第4次産業革命とビッグデータ 10-11　AI
41	第10章経営戦略とシステム戦略【ストラテジ系】	10-12　IoTシステムと組込みシステム 10-13　ソリューションビジネスとシステム活用促進
42	第10章経営戦略とシステム戦略【ストラテジ系】	復習 確認テスト
43	ITパスポート過去問道場	試験対策（過去問題）
44	ITパスポート過去問道場	試験対策（過去問題）
45	期末試験	期末試験

教科書・教材	評価基準	評価率	その他
・栢木先生のITパスポート教室 ・栢木先生のITパスポート教室準拠書き込み式ドリル	確認テスト 期末試験	30.0% 70.0%	

作成者:合田　千佳

科　目　名		学科／学年	年度／時期	授業形態
Webサイト演習Ⅱ		情報ビジネス学科／1年	2024／後期	演習
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	30回	2単位（60時間）	必須	合田　千佳

授　業　の　概　要

HTMLとCSS、WEBデザインの応用と実践

授業終了時の到達目標

WEBサイトのデザインからコーディングの流れを一通り習得

実務経験有無	実務経験内容
有	営業事務として2年の実務経験 これまでのMicrosoft Officeを用いたデータ分析資料や財務資料、プレゼンテーション資料、ビジネス文書作成などの経験を活かし学生の技術力を高める授業を展開する

時間外に必要な学修

準備学習として、『1冊ですべて身につくHTML＆CSSとWebデザイン入門講座』を一通り目を通しておくこと

回	テ　ー　マ	内　　容
1	動機付けと前期振り返り HTMLの基本構造	後期の授業の意義、修了後の明確な達成目的を確認する Webサイト演習Ｉの復習
2	基礎的なHTMLの作成	HTMLを用いて簡単なWEBページを作成する 2−8 リンクをはろう(様々なリンクの指定方法)
3	基礎的なCSSの作成	CSSを用いて簡単なWEBページの装飾を行う
4	基礎的なCSSの作成 テーブルの作成	CSSを用いて簡単なWEBページの装飾を行う テーブル作成に使用するタグやプロパティを学ぶ
5	テーブルの作成	テーブル作成に使用するタグやプロパティを学ぶ
6	リストとフォームの作成	2-9 リストを表示しよう 3-12 リストを装飾しよう 2-11 フォームを作ろう 2-12 より使いやすいフォームにしよう
7	ページ全体をレイアウトしてみよう	3-14 レイアウトを組もう 要素を回り込ませる(float)
8	ページ全体をレイアウトしてみよう	3-14 レイアウトを組もう(flexbox)
9	ページ全体をレイアウトしてみよう	3-14 レイアウトを組もう(grid)
10	リストとナビゲーションをスタイリングしよう	リストでナビゲーションを作成し装飾を行う
11	特殊なセレクタ(疑似クラスと疑似要素) 背景画像の指定方法	特殊なセレクタ「疑似クラス」と「疑似要素」 3-8　背景を彩ろう
12	振り返り練習問題	見本のWebページ画像から、HTMLとCSSを作成する
13	振り返り練習問題	見本のWebページ画像から、HTMLとCSSを作成する
14	位置指定の方法	位置指定の方法 10-3 自由に要素を配置する

回	テ　ー　マ	内　　容
15	CSSでアニメーション	CSSを用いてHPに動きを付ける方法を学ぶ
16	レスポンシブWebデザインについて	レスポンシブWebデザインの実践
17	レスポンシブWebデザインについて	ハンバーガーメニューの設定
18	動きのあるサイト作成	スライドショーの設定
19	Google mapやSNSの埋め込み	Google mapやSNSの埋め込み方法及び、metaタグで descriptionやOGP設定する方法を学ぶ
20	webサイト制作の流れ	Webサイト制作の流れを理解し、企画書の作成方法を学ぶ
21	就職活動用の自己紹介サイト制作①	就職活動で使用できるWebサイトの制作 （テーマとデザインの考案、企画書の作成）
22	就職活動用の自己紹介サイト制作②	就職活動で使用できるWebサイトの制作 （企画書の作成）
23	就職活動用の自己紹介サイト制作③	就職活動で使用できるWebサイトの制作 （実制作）
24	就職活動用の自己紹介サイト制作④	就職活動で使用できるWebサイトの制作 （実制作）
25	就職活動用の自己紹介サイト制作⑤	就職活動で使用できるWebサイトの制作 （実制作）
26	就職活動用の自己紹介サイト制作⑥	就職活動で使用できるWebサイトの制作 （実制作）
27～28	情報ビジネス学科2年生のWebサイト制作発表の見学	来年度行う丸亀商店街向けWebサイト制作発表を見学する
29	就職活動用の自己紹介サイト制作⑦	就職活動で使用できるWebサイトの制作 （実制作・仕上げ）
30	サーバへのアップロード	FTPソフトを使い、実際にサイトをアップロードし公開する手順を知る

教科書・教材	評価基準	評価率	その他
・1冊ですべて身につくHTML＆CSSとWebデザイン入門講座 ・Webクリエイター能力認定試験公式テキスト（エキスパート）	課題・レポート 実習・実技評価	40.0% 60.0%	

作成者:合田　千佳

科　目　名		学科／学年	年度／時期	授業形態
データ分析活用演習		情報ビジネス学科／1年	2024／後期	演習
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	30回	2単位（60時間）	必須	合田　千佳

授　業　の　概　要

・マーケティングの基本を事例を基に学習し、データ分析・整理手法の基礎を学ぶ
・データ分析のためExcelアドイン機能を活用し、関数・グラフ・集計・分析機能を学ぶ
・「地域経済分析システム（RESAS）」を利用し、ビッグデータの活用・分析方法を学ぶ

授業終了時の到達目標

・マーケティングの4つの理論（ベネフィット、セグメンテーションとターゲッティング、差別化、4P）体系を身に付ける
・「地域経済分析システム（RESAS）」や「政府統計ポータルサイト（e-stat）」など様々なオープンデータを活用し分析を行う基礎を身に付ける
・データ分析結果を基に目的の資料を作成すると共に、プレゼンテーションを身に付ける

実務経験有無	実務経験内容
有	営業事務として2年の実務経験 これまでのMicrosoft Officeを用いたデータ分析資料や財務資料、プレゼンテーション資料、ビジネス文書作成などの経験を活かし学生の技術力を高める授業を展開する

時間外に必要な学修

授業準備として、前の授業を踏まえて次の授業が展開していくので、次の授業までにそれまでの課題をしっかりクリアしておくこと

回	テ　ー　マ	内　　容
1	マーケティング基礎	「マーケティング」とはなにか？ なぜマーケティングが必要なのか？ マーケティングの基本4理論を知る
2	マーケティング基礎	「あなたは、何を売っているのか？」 顧客にとっての価値＝ベネフィットを知る
3	マーケティング基礎	「誰があなたの商品を買ってくれるのか？」 セグメンテーションとターゲットを知る 「あなたの商品でなければいけない理由をつくる」
4	マーケティング基礎	「あなたの商品でなければいけな理由をつくる」 差別化を知る 4P（製品・価格・販路・広告）を知る
5	マーケティング基礎	題材のイタリアレストラン改善企画プレゼンテーション実習準備
6	マーケティング基礎	題材のイタリアンレストラン改善企画プレゼンテーション実習
7	マーケティング基礎まとめ 企画書、資料作成方法	強い戦略は美しい 「東京ディズニーリゾートの例」に学ぶ マーケティング基礎の振返り
8	ビジネスデータ分析の基礎 ①ビジネスデータ把握力	データ分析やビッグデータの概要、統計学の必要性を理解し、平均値、中央値、最頻値をExcel実習で求める方法を理解する
9	ビジネスデータ分析の基礎 ①ビジネスデータ把握力	範囲、標準偏差を求める方法をExcel分析ツールを使用し基本統計量を簡単に求める方法を理解する
10	ビジネスデータ分析の基礎 ②ビジネス課題発見力	散布図や折れ線グラフを作成することで外れ値を導き出す方法を理解する ヒストグラムの概要とヒストグラムの作成方法を理解する
11	ビジネスデータ分析の基礎 ②ビジネス課題発見力	平均の異なるデータを比較するために必要な標準化とその求め方、標準化をもとに偏差値を計算する方法を理解する
12	ビジネスデータ分析の基礎 ②ビジネス課題発見力	時系列データではわからないデータの動きを移動平均や移動合計を用いることでデータから大局的な傾向を読み取ることができることを理解する

回	テーマ	内容
13	ビジネスデータ分析の基礎 ②ビジネス課題発見力	季節調整の概要と変動要因（季節要因）に着目したデータ分析方法を理解し、季節要因、トリム平均、季節変動値、季節指数を求める方法を理解する
14	ビジネスデータ分析の基礎 ③ビジネス仮説検証力	仮説とは何かを理解し、仮設視点で変数を原因と結果というグループごとの要約（集計）から仮説を検証し、分析する方法を理解する
15	ビジネスデータ分析の基礎 ③ビジネス仮説検証力	量的な変数間の関係分析にはグラフ化（折れ線グラフ、散布図）し、2変数の相関関係を相関係数から分析する方法を理解する
16	ビジネスデータ分析の基礎 ③ビジネス仮説検証力	量的変数2種類の分析方法である回帰分析方法を理解し、回帰分析を行うことによって、データの予測ができることを理解する
17	ビジネスデータ分析の基礎 ③ビジネス仮説検証力	回帰分析を使用したシミュレーションにより、原因(x)を動かしたときの結果(y)を簡単に求めることが可能になるソルバー機能の設定方法を理解する
18	REASASとは	ビッグデータの概要とRESASを使用してできる特徴的な機能説明と操作を体感する
19	RESAS「人口マップ」「地域経済循環マップ」「産業構造マップ」	各マップの概要と操作を学ぶ
20	RESAS for teacherを改変し政策アイデアを提案する手順例を演習	政策アイデアを提案する手順例を参考に操作を通し学ぶ
21	RESAS地方創生政策アイデアコンテスト2021のプレゼンテーション動画を視聴	RESAS地方創生政策アイデアコンテスト2021のプレゼンテーション動画を視聴し、政策アイデアを提案の参考にする企画書作成、資料作成方法を知る
22	e-statや統計ダッシュボードの操作	全ての政府統計を収録した統計ポータルサイトであるe-statの操作方法を学ぶ
23	地方自治体発のオープンデータや企業発のオープンデータサイトの調査	データ分析に必要なデータを取得するために色々なオープンデータサイトを調査する
24～27	プレゼンテーション発表準備	プレゼンテーション用のデータを作成する
28	プレゼンテーション発表リハーサル	プレゼンテーション発表に向けてのリハーサルを行う
29	プレゼンテーション発表	データ分析のポイントと自分の意見をもとにプレゼンテーション発表をする
30	プレゼンテーション発表フィードバック	プレゼンテーション発表のフィードバックを修正ポイントを話し合い修正する

教科書・教材	評価基準	評価率	その他
・Excelで学ぶビジネスデータ分析の基礎	課題・レポート 実習・実技評価	50.0% 50.0%	

作成者:梶河　沙耶子

科　目　名		学科／学年	年度／時期	授業形態
コミュニケーション体育Ⅰ		情報ビジネス学科／1年	2024／後期	演習
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	15回	1単位（30時間）	必須	梶河　沙耶子

授　業　の　概　要

・学科全体での体育授業とし、学生間で担当班をつくり各２コマを分担し運営する
・コミュニケーションを図ることを目的とした策を盛り込み、事前に企画提案する
・担当班は実践当日に全体の状況を把握し、積極的な声掛けを行うことでスムーズな運営に努める

授業終了時の到達目標

・企画書を作成することにより、語彙や表現力を高める
・コミュニケーション能力、実践行動力を高める
・先輩と話す際、言動に注意しながらもしっかりと議論できる

実務経験有無	実務経験内容

時間外に必要な学修

回	テ　ー　マ	内　　容
1	授業の説明と動機付け チーム編成	授業での取り組みについて理解する チーム編成を行う
2～3	第1チームによる体育実習	事前に企画提案したものを実践する
4～5	第2チームによる体育実習	事前に企画提案したものを実践する
6～7	第3チームによる体育実習	事前に企画提案したものを実践する
8～9	第4チームによる体育実習	事前に企画提案したものを実践する
10～11	第5チームによる体育実習	事前に企画提案したものを実践する
12～13	第6チームによる体育実習	事前に企画提案したものを実践する
14～15	第7チームによる体育実習	事前に企画提案したものを実践する

教科書・教材	評価基準	評価率	その他
	企画・レポート 積極性(コミュニケーション	40.0% 60.0%	

作成者:梶河　沙耶子

科　目　名		学科／学年	年度／時期	授業形態
インターンシップ		情報ビジネス学科／1年	2024／後期	演習
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	20回	1単位（40時間）	必須	梶河　沙耶子

授　業　の　概　要

・業界における専門知識と様々なセクションでの作業を体験し、仕事の「内容」を知る
・学内で学んだ知識・行動・倫理（マナー）を会社で体験実習し、仕事の「現場」を知る

授業終了時の到達目標

・仕事の内容を理解し、業務の一部をスムーズに取り組むことができる
・「会社・現場・仕事・社会人」といった言葉から具体的な理解と考えを持つことができる
・業種・職種について理解することができる

実務経験有無	実務経験内容

時間外に必要な学修

・社会人としてのマナー、身だしなみが身に付くよう意識する

回	テ　ー　マ	内　　容
1	企業研究 自己分析	インターンシップ先の企業研究
2～3	マナー指導	社会人として相応しマナーを身に付ける
4～19	インターンシップ	受け入れ先企業にて実習
20	振り返り	インターンシップを通して学んだ事を振り返る

教科書・教材	評価基準	評価率	その他
	実習・実技評価	100.0%	

作成者:梶河　沙耶子

科　目　名		学科／学年	年度／時期	授業形態
社会人基礎講座Ⅰ		情報ビジネス学科／1年	2024／後期	講義
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位（30時間）	必須	梶河　沙耶子

授　業　の　概　要

就職活動において必要な心得やスキルが取得できる。
動画で要点を学び、宿題を通じて問題や課題を発見し、授業で解決していく。

授業終了時の到達目標

就職活動に必要な考え方やスキルはもちろん、社会で活躍するライフスキルを身に付ける。

実務経験有無	実務経験内容

時間外に必要な学修

回	テ　ー　マ	内　　容
1	オリエンテーション	授業スタイルの説明 就職活動に向けて動機付け
2	「就職活動の世界」を知る その1	・就活の心構え ・就活の目的と目標 コンピテンシーチェック
3	「就職活動の世界」を知る その2	コンピテンシーチェック振り返り
4	偶然がつくる人生	・偶然性理論とは ・これまでを振り返ってわかったこと ・具体的な3つの行動
5	就活基礎教育(1)モノの見方 その1	・自分のモノの見方の特徴 ・モノの見方を拡げるためにはどうしたらいいのか
6	就活基礎教育(1)モノの見方 その2	・モノの見方をどう拡げたか、何が見えたか、どうしてまだ見えないのか
7	就活基礎教育(2)考え方 その1	・プレスとは、帰納法とは ・ロジックツリーを体験
8	就活基礎教育(2)考え方 その2	議論：「就活はどんな場であるか」
9	就活基礎教育(3) 文章の書き方と構成の仕方　その1	「私の住んでいる街」をテーマに800字で作文を書く
10	就活基礎教育(3) 文章の書き方と構成の仕方　その2	グループで回し読みをし、それぞれ評価 今後の改善点をまとめる
11	就活基礎教育(4)話の聴き方	自分の聴き方をチェックシートで確認する グループでお互いの良い点・改善点を出し合う
12	履歴書の書き方と伝え方 その1	基本情報と趣味を書いてみる
13	企業研究 その1	希望する業種・職種で企業を探し、その企業について深く調べる
14	企業研究 その2	調べたことを基に、志望動機を作成する
15	履歴書の書き方と伝え方 その2	履歴書を完成させる

教科書・教材	評価基準	評価率	その他
熱血！森吉弘の就活ゼミ教材	実習・実技評価	100.0%	